

水害から西淀川区を守る！！～水防団の活動を知っていますか～

水害の被害から区民のみなさまの命と財産を守ることが水防団の役割です



西淀川第2水防区
高田 篤 分団長

水防団の活動の概要を教えてください

淀川右岸水防事務組合には45の水防分団があり、西淀川区には17個あります。各分団は、台風・大雨・洪水・高潮・津波などの水害の防止や被害の軽減に努めています。西淀川区の分団は主に堤防の監視と防潮鉄扉の操作を行い、区民の命を守ることを使命としています。

水防団に入ったきっかけは？

私は昭和56年7月に当時の西淀川第2水防区の分団長に「地元のために一緒に働かないか」と言われて感銘を受け、貢献したいと思ったのがきっかけでした。

活動で印象に残っていることや思い出はありますか？

平成30年は多くの災害が起りましたが、中でも9月の台風21号の体験は深く印象に残っています。多くの家の屋根瓦がずれたり壁が剥がれたり、鉄板が飛んだりするような強烈な台風の中、私たちは緊張しながらも防潮鉄扉を閉める作業をやり遂げました。

区民のみなさまへ一言

私たちは防潮扉の開閉、無線訓練、積み土のう工に代表される水防工法などの訓練、初任者や指導者を対象とした訓練を行っています。こうした水防団の活動を知ってほしいです。

毎年鉄扉の操作や無線通信の訓練を行い、いざという時のために備えています

鉄扉訓練の概要を教えてください

「淀川・神崎川及び左門殿川防潮扉点検操作訓練」が、今年も7月2日(土)深夜に行われました。当水防団では、西淀川区9カ所の防潮扉の開鎖・開放の操作訓練と無線通信訓練を行いました。

鉄扉訓練を終えていかがでしたか？

今年の訓練もよく連携が取れましたが、年1回の訓練は継続するべきです。訓練を繰り返しているからこそ毎回安全に作業を行うことができます。

西淀川区における水害の歴史について

西淀川区は海抜0メートル区域にあり、長い水害の歴史があります。現在の高槻市大塚町で大正6年に起こった「大塚切れ」では、水害が西淀川区にも及びました。これを契機に前身の「淀川右岸水害予防組合」が組織されました。以降、ジェーン台風や第2室戸台風など、多くの現場で水防団が活動しています。最近では、平成30年の台風21号で、西淀川区内の浸水被害を防ぐことができました。



西淀川第15水防区
森岡 宏 分団長



平成30年台風21号襲来時の様子

区民のみなさまへ一言

私も先輩に誘われて水防団員になり20年が経ちました。皆様の命を守る責務の一端を担っていることに誇りを感じています。興味を持たれた方はぜひご連絡ください。

動画はこちら▼



あなたの力が必要です！

水防団員

を募集しています!!

21歳～89歳まで活躍中!!

西淀川区では現在、17分団が活動中。区内在住または在勤されている18歳以上のみなさん(男女問わない)、あなたのフレッシュな力を必要としています!

活動内容 ● 災害時の水防活動(防潮鉄扉の開閉作業や巡視等)
● 災害に備えた管理施設の点検と水防訓練

訓練回数 ● 年2～3回

入団資格 ● 区内在住または在勤の18歳以上の方

西淀川右岸水防事務組合
TEL 06-6302-8721

詳しくは
コチラ▼



地域防災の担い手！

防災リーダーを ご存知ですか？

地域防災リーダーは区内14地域ごとに組織されており、「自分の身は自分で守る」「自分たちのまちは自分たちで守る」をモットーに防災活動に取り組んでいます。

毎年11月に行われる西淀川区一斉防災訓練で中心となって訓練を進めたり、消防主催の講習会で放水訓練や救命講習を行ったりしています。

西淀川地域支援課(安全まちづくり・防災) 4階41番 TEL 06-6478-9895



詳しくは
コチラ▼



水害から西淀川区を守る！

西淀川区地域活動協議会会長会大垣会長と淀川右岸水防団中畑団長が区役所で意見交換を行い、区内の各種団体が一致団結し、西淀川区の防災力を高めていく事を確認しました。

